

令和7年度（横浜南支援学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

| 課 題 | 目 標 | 実施結果と目標の達成状況 |
|--------------------------------------|-------------------------------------|---|
| 法令遵守意識の向上 | わいせつ事案等公務外非行防止及びモラルの向上 | 通知、新聞報道等を受け、情報の周知徹底と注意喚起を、随時行った。質の高い同僚性を醸成するために、令和6年度に引き続き、夏季休業期間中に「ワールド・カフェ」を企画、実施した。 |
| 職場のハラスメント行為の防止 | パワハラ・セクハラ・マタハラ等の未然防止 | 不祥事防止啓発資料を活用し、内容理解と意識向上および注意喚起を行った。今後も継続して取り組んでいく。 |
| 体罰、不適切な指導の防止 | 体罰、不適切指導の未然防止 | 11月に「体罰・不適切な指導の防止」というテーマで、支援連携GLによる研修を実施した。不適切な指導が起きにくい環境づくりについて、今後も継続して取り組んでいく。 |
| 成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止 | マニュアルの整備 チェック体制の再確認 | 昨年度からの継続で「成績処理、評価における事故防止」を全ての学部部門の共通のテーマとし、取り組んだ。特別支援学校高等部、高等学校等の入学者選抜等においては、事故のないようチームとして取り組んだ。 |
| 個人情報等の管理、情報セキュリティ対策 | 個人情報の取り扱いに関するルールの遵守 記録媒体の適正利用の徹底 | 不祥事防止啓発資料を活用し、内容理解と意識向上および注意喚起を行った。9月に「個人情報の適切な取扱い 情報セキュリティ」というテーマで、教育企画GLによる研修を実施した。今後も継続して取り組んでいく。 |
| 業務執行体制の確保等 (情報共有、相互チェック体制、業務協力体制) | 確認協力体制の見直し ダブルチェック、トリプルチェックの徹底 | 「ゆとりを生み出す業務改善」について、全ての学部部門・校務グループの共通のテーマとして、継続して取り組んだ。これまでの業務の見直しと、業務アシスタント、学校業務サポーターとの連携について、学校を挙げて取り組むことができた。 |
| 会計事務等の適正執行 | 私費会計に係る事務処理の適正執行 私費会計マニュアルの整備 | 不祥事防止啓発資料を活用し、内容理解と意識向上および注意喚起を行った。10月に「私費会計について」というテーマで、管理運営GLによる研修を実施した。また、センター費の取扱いについて整理を行った。 |
| 保健・安全対策および学校防災・安全対策 | 安全・安心な学校環境の整備 事故防止のための適切な対策 | 4月にDIG研修、不審者対応訓練を実施し、非常時に備えた動きを確認し、防災意識の向上を図った。また、感染防止の研修を行い、感染と感染予防についての理解を深めた。今後も、病院の関係各所と連携を重ねていく。 |

○ 令和7年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和8年度に取り組むべき課題（学校長意見）

本校では、次のテーマに基づき、学部・部門、校務グループごとに目標を設定し、年間通して実践する取組を継続している。

●人権に配慮した児童・生徒への関わり ●成績処理、評価における事故防止

●ゆとりを生み出す業務改善

不祥事・事故防止について、受け身になることなく、前向きに、積極的な意味を見だし、職員一人ひとりが取り組んでいくことが大切であると考え、令和8年度も継続して不祥事・事故防止について学校として取り組んでいく。